


様式第2号(第9条関係)

会議録

会議の名称	令和4年度第3回文化振興審議会		
開催日時	令和4年8月29日(月) 開会時刻 午後5時30分 閉会時刻 午後7時30分		
開催場所	ふじみ野市ステラ・イートスタディールーム		
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名 氏名
	会長	伊藤 裕夫	副会長 進藤美奈子
	委員	岡本 雄司	委員 渡辺 行野
	委員	遠山菜穂美	委員 小林葉津子
	委員	福田真智子	委員 秋元江梨子
	委員	尾澤 景子	委員 貞森 大暉
	委員	田中 義則	委員
会議の議題	(1) 西文化施設実施設計概要について (2) 指定管理者応募状況について (3) 第2期ふじみ野市文化振興計画素案qについて (4) その他		
会議の公開又は非公開の別	公開		
会議の非公開の理由			
傍聴人の数	0 人		
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり		
会議資料	別添のとおり		
事務局	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課		
議事の確定	確定年月日	令和4年9月28日	
	記名押印	役職名 会長 伊藤 裕夫	

(会議の経過)

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	1. 開会  2. 議事 議題（1）西文化施設実施設計概要について  <事務局説明>  【質疑】
伊藤会長	今回、ステラ・ウェストの全体像が見えてきました。説明に対する質問があればお願いしたい。
岡本委員	資料P9ギャラリーの部分、壁の材質はどんなものですか。
文化・スポーツ振興課長	多目的に使えるものとなっています。
岡本委員	絵画をピックアップレールから吊るす際、揺れたりしないように、壁にワイヤーを刺すことがあるそれができるような素材になっているのでしょうか。または、壁に直接貼るタイプもあります。ガラスケースの中に飾るもの、重たい作品を飾る場合もある。それができる壁が良いと思います。
伊藤会長	開閉、光の照度など、パーテーションの使い勝手などは如何ですか。
岡本委員	スポットライトの位置など、形は良くても使えない設備では困ります。
伊藤会長	美術関係の人のチェックをしてもらう方が良いでしょう。図書館、公民館的機能が入るので、施設をどのようにスムーズに運営していくかが課題です。次に、指定管理者の応募状況について説明をお願いします。
	議題（2）指定管理者応募状況について
事務局	利用者説明会を、9月下旬から行います。内容は、利用区分や予約方法など市報8月号で周知を行いました。
伊藤会長	【質疑】  市の指定管理者選定委員会が立ち上がりました。第1回の会議で、仕様書の内容について厳しいことを話しました。 委員会は一般的な仕組です。募集説明会では4グループ、10社が来ています。今回の応募数4社は、平均的な数です。指定管理者制度が始まった

発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>頃は、応募には7～8社来ていました。現在は大体4社程度です。今後、応募者からの企画書について委員会で審査し、10月末頃プレゼンテーションが行われ、20分位の説明時間で、一番点数が高いところが第1位、優先交渉権を得ます。12月の議会で承認を受け、来年の4月から、ステラ・イースト多目的棟から運営が開始されます。</p>
貞森委員	<p>指定管理者選定委員会の仕事は何ですか。</p>
伊藤会長	<p>公募団体宝1団体に絞るのが選定委員会の仕事です。指定管理者を選ぶ際には基本の選定委員の他に、その分野に詳しい人を2人ないし3人臨時委員に加え、委員会を構成します。指定管理者の指定期間は5年間となります。複数応募があると競争が起き、その結果、より良いところが選定されます。1回指定管理者を取った事業者は、よほどひどくない限り、継続化する場合があります。</p>
文化・スポーツ振興課長	<p>今回の応募者は、近隣でホールを運営しているところ、初めて取り組むところなど、内容的には面白い選定になると思います。</p>
福田委員	<p>選定基準は、示せるものがあるのですか。文化的な事業どもきちんとやっていたなど確認できるもの。</p>
伊藤会長	<p>仕様書がありそこに細かく記載されています。建物管理事業などは細かく採点基準が書かれたものがあります。ふじみ野市らしい文化的な部分は詳しく書かれていない。建物の管理が中心です。</p>
進藤副会長	<p>仕様書など紙に書いてあるものが現実になったとき、どういうことが起きるのか。意外と肝心なことを書いていないことが多く、思いもかけないびっくりすることが起こる。目を光らせて見ていきたい。ふじみ野らしい文化を創造していくことなど書き方が弱い。文化振興計画が参考資料となっています。</p>
福田委員	<p>管理中心に行ってしまう事への危惧があります。この場で一生懸命議論している内容をどこまで活かせる選定となるのか。気になるところです。</p>
伊藤会長	<p>まだ提案書を読んでいませんが、次回の会議で、差し支えない範囲で率直な印象や課題を伝えたいと思います。実際に指定管理者を選んでも問題が生じることはあります。市の担当者との間でモニタリングやチェック、利用者協議会を設けて、利用している人が意見を述べて改善につながるような仕組みをつくらないといけない。指定管理を提案してくる企業には、そういった改善のしくみを盛り組んでいる所もあるが、そうではないところもあります。このあたりは提案書を見て、入っていなかった場合は条件として付けることもできます。なるべく心配がないような形にしたいと思います。</p>

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
小林委員	<p>新しい文化施設の中で提案すること、食の文化など、一番響くのは、食です。新たに調理室ができた。誰もがそれを体験出来ると楽しい。市でもバックアップして欲しいと思います。子供も含め提案して欲しい。地域の活性化にもつながります。食は、生きていくための大切なテーマです。</p>
伊藤会長	<p>文化芸術拠点となると芸術が中心。今回は、公民館・図書館も入ります。ホールでの鑑賞だけでなく、多様な文化が入る。利用するだけの便利なスペースだけでなく、提案していける場になります。 次の議題に入ります。</p>
事務局・コンサル	<p>(3) 第2期ふじみ野市文化振興計画施策（素案）について</p> <p>〈説明〉</p> <p>【質疑】</p>
伊藤会長	<p>前回の時に、皆さんの声が、前は4本の柱が3本の柱となりました。まとめたのは伝統文化や文化財でしたが、伝えていくという要素が弱いのではないかという声が出ていました。新しい方針を増やすという形はとらなかったが、基本方針の1, 2, 3にそれぞれ「つながる」あるいは2で「みつける」「いかす」文化的な魅力の発見に「伝える」を補って歴史的な流れ、継承することを強調しています。3の子どもたち、担い手のところでも「つなぐ」という要素を強調するなど、キーワードを増やす形で意見を採用しました。施策の内容については今後詰めていく必要があります。取組の部分に関しては、レベル感がまちまち。こういった部分に対して、細かくチェックするのではなく、「こういう要素が抜けている」「こういう要素を取り入れてほしい」という声を中心に出してもらいたい。 P16、P17に文化施設の方向性が書いてあって、大井と上福岡の距離感について、お互いそれぞれの文化施設の利用者は「あつちは」といっているようで、28、43とかの交流促進について、もう少し具体的に盛り込んだ方がいいのではないのでしょうか。</p>
尾澤委員	<p>同じことを考えていました。こういったものの役割分担、ネットワーク、交流の仕方など、2～3年前にも議論となっています。この館をいかにつなぐかが課題です。施策の方向性1の利用しやすい文化拠点、利用しやすいというところを強調し、具体的な施策を入れていくなども考えて頂きたい。</p>
伊藤会長	<p>ステラ・ウェストとは新しくできて、ステラ・イーストは改修だったというイメージがあります。ステラ・イーストもホールは新しいホールができます。5年後になりますが。</p>

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
尾澤委員	<p>時差的なものがあります。開館までの間、どこかを借りないといけないなど。移行期間の間、双方で交流ができるような機会があればよいと思います。</p>
小林委員	<p>文化などを享受する楽しみを考えると、食の文化ほどすごいものはないと思っています。サステイナブルで一番直に響くのは「食」。今までテーマ化されてこなかったが、新しく調理室ができる。すぐ利用できる誇らしい食材、誰もが体験できて誰もが食べられる。市のほうでもバックアップいただき、子どもたちも含めて色々提案できると良いです。きれいで、美しいものも作れます。おいしいものも作れるし、空気や水について学べる。地域の活性化にもつながる。今後長く続けていく上でも、大切なテーマ、大切な文化ではないかと思います。強くテーマとして表に出てくるといいです。</p>
伊藤会長	<p>文化芸術拠点と書かれてしまうと、ホームとして取られてしまう。今回作っている施設は旧公民館施設、調理室や和室がある。鑑賞だけではなく、様々な多様な文化の拠点となる点を補った方がいいのではという意見です。</p>
小林委員	<p>誰かが利用できる便利なスペースだけではなく、企画を提案していける、みんなで作っていける、何か大きなテーマがあれば、面白くなるのではないですか。</p>
福田委員	<p>「つどう」だけでなく、文化を創造していく場である。「文化創造」という言葉がないですね。</p>
伊藤会長	<p>「創造」は、第3章子どもの育成に入っています。他かの章は弱い。公民館としてどう考えるか。指定管理者への要望として、条件に加えることができます。</p>
田中委員	<p>公民館は、子どもや、高齢者の通いの場。お金をかけないので、楽しく集まれる場所です。これからが大事になってくる。実際、現在、会場が取れない。お金をかけなくてもできる場所が欲しい。文化の創造では、「大井村の村祭り」の延長線上になれば良いと思います。</p>
伊藤会長	<p>1-1-(1)か1-1-(2)か3に入れた方がよいが、文化施設の鑑賞の場だけでなく、文化創造の場ということばを明記していく。</p>
進藤副会長	<p>大井・上福岡という地区の分裂がまだありますが、多くの人は興味がない。上福岡の人はまだ、産業文化センターの場所が分からない。今回、上福岡地域のミュージックフェスタに大井地区のグループとして出ます。行政が1つになるイベントも大事。地域の区別なく行えるもの、文化施設を使って楽しく過ごすイベントなど。地域を1つにする新しい催しを創り</p>

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
小林委員	<p>出し、そこに若者がかかわるなど。朝霞市の「よさこい祭り」は熱心、若い子たちが頑張っている。若い子の力を使い、まちを1つにしていけるイベントを創るなど。地域のお祭りなどは伝統もり、市民の融合が進まない状況です。</p> <p>他所から来た人には不思議です。都内から来た人は、ふじみ野市には興味がない。市内には才能のある人もたくさんいる。例えば、退職後の人たちにも楽しい場所にしていくことをしないと。文化の花の咲かせ方。ステラ・ウェストの課題にもつながります。公民館活動の活性化が必要です。</p>
貞森委員	<p>小中学校の子供たちが訪れる機会を創り、子供たちがいきたいと思える施設にしていくことが必要だと思います。児童図書コーナーなど訪れてみて体験、遊べることなどが分かるとよいです。例えば、和室では和服体験、お琴体験など、ウステ・ウェストに行く機会をつくるなど、若者たちの興味・関心を持たせるためにも、まずは知ってもらい、触れてもらう機会をつくるなど、如何でしょう。</p>
田中委員	<p>公民館では、年に1回、小学3年生の見学会、体験学習会をやってきました。また、公民館3館全体で「ふれあい公民館」もやっていました。</p>
伊藤会長	<p>指定管理者にやらせるようにしていく必要があります。また、施設が図書館と一体化しており、利点も一杯ある。オープン公民館など。中学校部活動の地域移行も今後入ってきます。公民館機能などを使い地域に出していくチャンスということを計画の中に出していきたい。</p>
遠山委員	<p>群馬県高崎市芸術劇場の事例があります。高崎市の劇団が、市内小中学校にアウトリーチで演奏しています。それが、小中学校の大きな行事となっています。鑑賞教室など、文化は本物の芸術に出会うことが大事。文化施設は、和室、調理室など、図書館など色々な要素があり、ネットワークが作れます。コンサートの曲や、調理する料理や素材を図書館で調べたりできることなども、利点として計画に入れ込んでいく。</p>
渡辺委員	<p>「つどう であう つながる」の「つながる」の部分のキーワードが少ないと思います。ホールに来たのが違うものに出会い、興味・関心につながる。違う目的で行って、交流したうえでつながること自体が合い反して面白いと思います。P41に初めて「つながる」という言葉が出てきます。</p>
古田土委員	<p>教員の働き方改革について、外部のサークルを充実させる動き方。今までの学校単位のサークルが基本的な形、もっと大きな単位があっても良い。いろいろなサークルが出てくれば、拡散していく。大きな施設がステラ・ウェストにできるので、あそこでなければできないことなどでくるだろうと思います。</p>

発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
文化・スポーツ振興課長	<p>2年間コロナで事業等が中止でしたが、今年は文化祭が開催されます。ステラ・イーストも使われます。上福岡西公民館、ステラ・イースト多目的棟、ホールを使い開催されます。文化祭は教育分野が所管しています。教育分野と言って分けるのではなく、文化施設において、市民の実行員会ります。みんなでアートを創るなど、施設ができれば変えていく必要があります。</p>
伊藤会長	<p>団体をどうつなげていくか。スポーツにはスポーツ協会がある。市が主体で作るのか、全文化のジャンル、アートのジャンルなどまとめ方、文化協会のような組織を作り活性化させる必要性についてご意見を聴きたい。</p>
文化・スポーツ振興課長	<p>スポーツのようにまとめた方がよいのか、何らかの形で交流の場を作っていく必要があります。施設に足を向けない人もいる。気軽につながる人、場など。中間支援組織など、人ありき、行政にはできない部分である。</p>
岡本委員	<p>それぞれの人の分野をつなげるのは難しいです。人でなく、図書館が一緒になっていることを最大限活かす。アート、ホール、踊り、ジャズダンスなど。文化的な面、図書館が充実しているなど。ここの図書館に来れば、アートの分野の本が3冊見つかるなど。施設でできる内容の本が充実していることでうまく利用していく。ホールに図書館があるという環境は良いと思う。</p>
伊藤会長	<p>文化施設と図書館の指定管理者が違います。図書館の指定管理者ときちんと話をしてもらおう。3階のキッズコーナーなど特に必要です。</p>
秋元委員	<p>子どもは種をまいてあげれば、自然に行きたいと言うし、近い子は自分で行きます。市として特徴のある施設が子どもたちに伝わると足が自然に向くと思います。第3章の(2)の書き方が暗い。子どもたちが安心でき、生き活きとできる場づくりのような表現にした方が良いでしょう。</p>
事務局	<p>公民館でも取り組んできた体験教室室などがあります。学校でないところにも居場所があるという表現でした。ご指摘の通り書方を修正します。</p>
伊藤会長	<p>サードプレイス、行き場のない人の居場所空間という考え方です。子どもの居場所は教育課程のなかで考えることであり、文化施設に押し付けてはいけません。</p>
古田土委員	<p>指定管理者を選定する際の大事なところ。『コーディネーター』のようなサポーター的な人材がいるかどうか。見つけられるかが大事です。</p>

発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
伊藤会長	指定管理者が市民と専門家をつなぐ役割を果たせるか。指定管だけでなく中間支援組織などにも触れています。文化施設において、コーディネーターや中間支援組織などの機能も必要です。
尾澤委員	P47のそれぞれの分野の中心となるマスターというような人、コーディネーターの集まりをネットワークづくりにも入れ込んでいくなど、お年寄りが行きにくいなら、行きやすいようなコーディネーターを作るなども盛り込んでよいのではないかと。
伊藤会長	文化施設について、ワークショップに参加した人から文化財や工芸などの取組も声が上がっていました。どう盛り込んでいくか。
田中委員	文化施設には、資料館は入っていないのですね。
伊藤会長	市の貴重な文化資源を活用していくという考え方。色々な場所でのネットワークで活用していくなど。
尾澤委員	種をまく実行部隊をどうするか。実際だれがやるのか。具体的にどう盛り込むか。地域の文化資源などからめてやってみるなど。
伊藤会長	その部分は、P52～P53の部分に記載されています。
渡辺委員	企画を考えていく。テーマに関連し、音楽や美術に関連させる。背景には図書館がある。みんなでアートを創ることのできる施設にできれば。
福田委員	コーディネーターの役割、存在、ネットワーク作りなど、ワークショップの中で、障がい者の活動をしている人がいて、精神の障がいを持つ人が音楽で活動ができる場所はないかと聞かれた。まち全体のネットワークが整理されていないと思います。
田中委員	今年は文化祭をやるんですよね。文化祭はいろいろな分野の人が実行委員会をもって立ち上げていく。いろいろな人が集まる祭りみたいなもの。祭りは盛り上がる。ステラ・祭、フェスタみたいに西も東も一緒になって何かやるのも悪くない。宣伝にいいのではないかと。
伊藤会長	西と東が一緒になるフェスティバルはいいですね。
進藤副会長	今回、ミュージックフェスタできらきらコーラスを出そうとして初めて知ったのが、子どもは出られない。大人は大人の祭、子どもは子どもの祭。そこをもっとぐちゃぐちゃにした方が、子どもだけで市内で大人との交流のフェスタにした方がいい。子ども同士の学校の交流も大事だが。
事務局	協働推進課に地域活動支援センターがありコーディネーターがいます。



発言者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
伊藤会長	<p>そこは、様々な市民活動のネットワークを作っています。文化施設には、生涯学習機能も入るので、そこのつながりもできると思います。</p> <p>文化施設はいろいろな部門が入っている。うまく機能すると可能性があります。指定管理者の運営が、こまごま計画の中で促進していく内容を入れたい。第5章の計画の推進体制の章も大事である。ふじみ野市ならではの特徴ある章にしていきたい。</p> <p>(4) その他について</p>
事務局	<p>文化事業のパンフレットを作製しました。4月に、審議会で承認を頂いた事業をまとめたものです。この事業の内容は多様です。芸術的なホール事業、子供対象の事業、食文化事業、福祉的な事業、文化財とのコラボ事業、演劇事業など。現在も事業は進んでいます。</p>
文化・スポーツ振興課長	<p>貞森委員の意見、小中学校の施設見学、体験などは実際考えている。子ども達が来る施策。また、ホールの無料開放 day など、市と指定管理者と協議し中身をどうやっていくか計画のポイントになる。また、文化協会のような組織が必要なのかなど検討していきたい。</p>
伊藤会長	<p>文化協会、ネットワークなどもご意見をいただきたい。ふじみ野市は多くの文化事業をやっている。よりやりやすい環境づくりや、参加する人が仲間だけでなく、多様な人が参加できる内容も考えていきたい。</p>
事務局	<p>3. 閉会</p>